

春(令和6年度(2024年度))を迎える
中学校2、3年生の皆さんへ



星のあまん おりひめちゃん

交野市教育委員会の教育長の北田千秋といいます。

三学期も終盤、3年生は卒業間近です。そんな皆さんにお話をしたいことを書きました。

今から50年ほど前、自分自身が中学校2年生、3年生の時のことです。

クラブはバレーボール部でした。が、なんとなく入部したし、上手でもないし、そのうえ、私が中2の時は3年生が強くて秋まで引退を延ばすことになり、そのため、2年生の夏休みなってもまだ練習では球拾いをしていました。



その後、レギュラーにはなったものの、3年夏の大会で早々に負けて引退しました。「3年生になったら勉強頑張ろう」と思って春休みに大量に買い込んだままほとんど使っていない参考書や問題集が山になって部屋にあり、それを見ると焦るし、勉強意欲はかえってしぼんだりしました。



中2も中3も、今の教育長という立場で言えるようなカッコいい中学生ではなかったです。でも、今から振り返ると、クラブの先輩は本当にいい人でした。偉そうな態度をとることもなく、だから、秋まで引退が延びても後輩の2年生としては不満もなく、球拾いができました。先輩だから、上手いから、それだけの理由で偉そうにするものではない、と知らず知らずのうちに学んだように思えます。

皆さんは、どんな中学校生活ですか。ひょっとして思い通りの中学校生活ではなかった人もいるかもしれません。でも、知らず知らずのうちに学び、それが将来役に立ったり、また、自分の行動が知らず知らずのうちに周りにいい影響を与えていることも多くあります。

春がすぐそこまで来ています。春も秋も過ごしやすい季節です。でも、春はなんか気分がうきうきするのに、秋は何となく物思いにふけて寂しく感じる人が多いです。

なぜでしょう。春にはこれから草木が芽吹き、花が咲き、青葉が茂り、大きな果実が実りなど期待感があります。秋には、このあと葉が落ち、花の咲かない時期があり、寒風が吹き、と物悲しい風景がイメージされるからかもしれません。



季節だけではなく、皆さんは人生でも春だと思えます。「そんな穏やかでのんびりしていません」、という人もいるでしょう。でも、毎朝の登校風景を見ておられる方が、「元気をもらってます」とおっしゃいます。これは皆さんの姿に春を感じているからだと思えます。

皆さんのこれからの人生、いろいろな可能性の芽があり、大きな花が咲き、周りの人が喜ぶ果実を実らせることもできます。自分では、今はぼんやりしている未来かもしれませんが、未来ある皆さんの存在こそが周りの人をワクワクさせ期待を抱かせます。

4月から、義務教育を終え新たなステージに向かう皆さん、3年生となり義務教育の締めくくりを迎える皆さん、自分に自信をもって、これからの進路を切り開いてください。

前に進もうとする皆さんの姿、ただそれだけで、我々大人に勇気と希望を届けてくれます。

